



我等行く手の



令和5年度
12月号
利根商
進路だより

問題：あなたが面接官だったら、①～③のどの答えに一番興味が湧きますか？



あなたが高校時代、頑張ったことは何ですか？

- ①部活動でレギュラーとして県大会に出場しました。
- ②毎日4時間勉強して、テストで校内1位になりました。
- ③「創生」or「課題研究」の授業で商品開発を行いました。



●入試・就活に生きる！「総合的な探究の時間」・「課題研究」

正解は分かりましたか？①や②も魅力的な答えだと思えますが、私が面接官なら断然③です。なぜだか、分かりますか？

推薦入試でも就職試験でも、面接官は1日に何人もの高校生と面接試験を行っていることが多いです。そして多くの高校生は、「高校時代、部活動・勉強を頑張った」ことをPRします。そんな中で、例えば「商品開発」をアピールすれば、周りと違う魅力あふれる自己PRとなり、**面接官の印象にも残りやすい**はず。合格に一步、近づくかもしれません。さらに、経営学系の大学や、商品企画・開発を行う企業であれば、それが**志望動機にも**なります。

昨年度から「総合的な探究の時間」が全国の高校で必修となりました。そこで、利根商普通科では1・2年次に「みなかみふるさと創生学」という授業が、商業科では3年次に「課題研究」という授業が行われてます。内容としては、**生徒が主体**となってみなかみ町等の課題を解決するために探究を行っていきます。その中で先輩方は、商品開発やPR活動等の実績を残してきました。皆さんも真剣に取り組めば、これらの授業で実績を残せるはず。皆さんは、入試・就活等で面接試験を受ける可能性が高いです。上記の通り、「創生」や「課題研究」に真剣に取り組めば、面接で好印象を残して、進路実現できるかもしれません。**「総合的な探究の時間」「課題研究」は、進路への無限の可能性を秘めているのです。**



合格



●社会人になっても生きる！「総合的な探究の時間」・「課題研究」

「総合的な探究の時間」は、入試・就活等で役立つだけではありません。

「探究」の基本的な進め方は、「(1)課題の設定→(2)情報の収集→(3)整理・分析→(4)まとめ・表現」となっています。これは、大学における研究や、ビジネスにおける企業活動・管理等において、主要な手法である「PDCAサイクル」に通じます。「PDCAサイクル」とは、「①Plan(計画)→②Do(実行)→③Check(確認)→④Act(改善)の4段階を繰り返して、目標達成につなげる方法。」と定義づけられています。「探究」の(1)~(4)と「PDCAサイクル」の①~④は、ほとんど対応しています。つまり、高校でやっている「探究」の手法は、**大学・企業等でそのまま応用できる**ということです。

●まとめ

以上のように、「総合的な探究の時間」・「課題研究」は、皆さんの進路に大いに役立つはず。何となく取り組むのは本当にもったいない！やるからは、進路や今後の人生につながるよう、真剣に取り組んではいかがでしょうか？



●当面の予定

1月 9日	3学期始業式	17日	2年 模擬授業型進路が'仮'以
13・14日	大学入学共通テスト	20日	2年 利根沼田職業が'仮'以
13日	1月記述模試	15・29日	公務員講座